

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

火の取り扱いにご注意を！

夏といえば花火。そして、子どもたちの好奇心がぐんと高まる季節です。しかし“ちょっとした火が”大きな火災・けがにつながってしまうこともあります。

いま一度、火の取り扱いについてしっかりと確認しましょう。



●花火を安全に遊ぶポイント

- ・風の強いときは花火をしない
- ・燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ
- ・子どもだけでなく大人と一緒に遊ぶ
- ・説明書をよく読み、注意事項を必ず守る
- ・水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける

おもちゃ花火を選ぶときは SF マークを確認しましょう

公益社団法人日本煙火協会の検査所では、火薬類取締法に適合しているか否かを見る「基準検査」、また、花火の構造、燃焼現象、使用方法に係わる表示を確認し、実際に着火して危険の有無を調べる「安全検査」を実施しています。

これらの検査に合格したおもちゃ花火には、右の SF マークが付されています。



●子どもの火遊びによる火災にご注意を

毎年全国では、火遊びが原因の火災が多く発生しています。特に、子どもだけで火を扱っている時に発生したものが多く、発見が遅れたり、手が付けられなくなるほど火が広がったりするケースもあります。

●子どもの火遊びによる火災防止のポイント

- ・子どもだけを残して外出しない
- ・ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない
- ・子どもだけで火を取り扱わせない
- ・火遊びをしているところを見かけたら注意する
- ・火災の恐ろしさや火の取り扱いについて教育する

Information

電気器具の安全な取り扱いについて

近年、電気器具やモバイルバッテリーが原因となる火災や事故が発生しています。安全に使用するため、正しい取り扱いを心掛けましょう。

- ・コンセントやプラグにほこりをためない
- ・コードを束ねたまま使用しない
- ・傷んだコードやプラグは使用しない
- ・使用していない電気器具のプラグは抜く

たこ足配線による電気の使い過ぎは、発熱や火災の原因となるため注意が必要です。使用していない電気器具は電源を切り、長期間使用しない場合はプラグを抜きましょう。

電気器具を正しく使用し、プラグやコンセントのほこりを掃除して、電気火災を未然に防ぎましょう。

